



peers

NEW NORMAL ACCELERATION

2024年9月期 通期

# 決算説明資料

株式会社ピアズ

東証グロース市場(証券コード：7066)

2024年11月

# 1. 業績ハイライト

2. 2024年9月期 通期実績・事業トピックス

3. 来期業績予想

4. 株主還元策

5. Appendix

### 連結売上高

**62.0**億円  
(前年同期比 +10.3%)



増

### 連結営業利益

**4.8**億円  
(前年同期比 +12.7%)



増

### 当期純利益

**5.8**億円  
(前年同期比 +83.3%)



大幅増

### EBITDA

**6.2**億円  
(前年同期比 +9.4%)

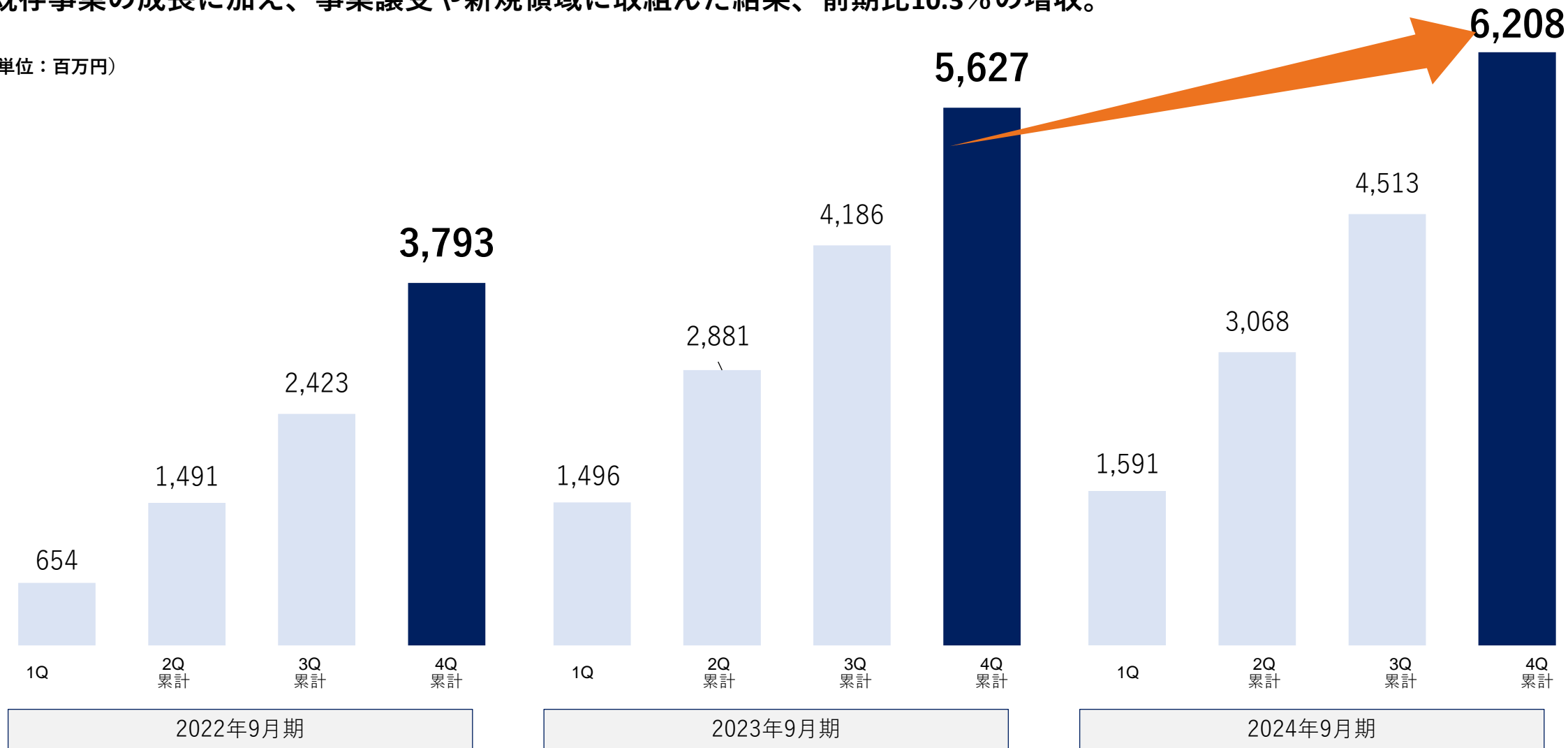


微増

# 連結売上高の推移

既存事業の成長に加え、事業譲受や新規領域に取組んだ結果、前期比10.3%の増収。

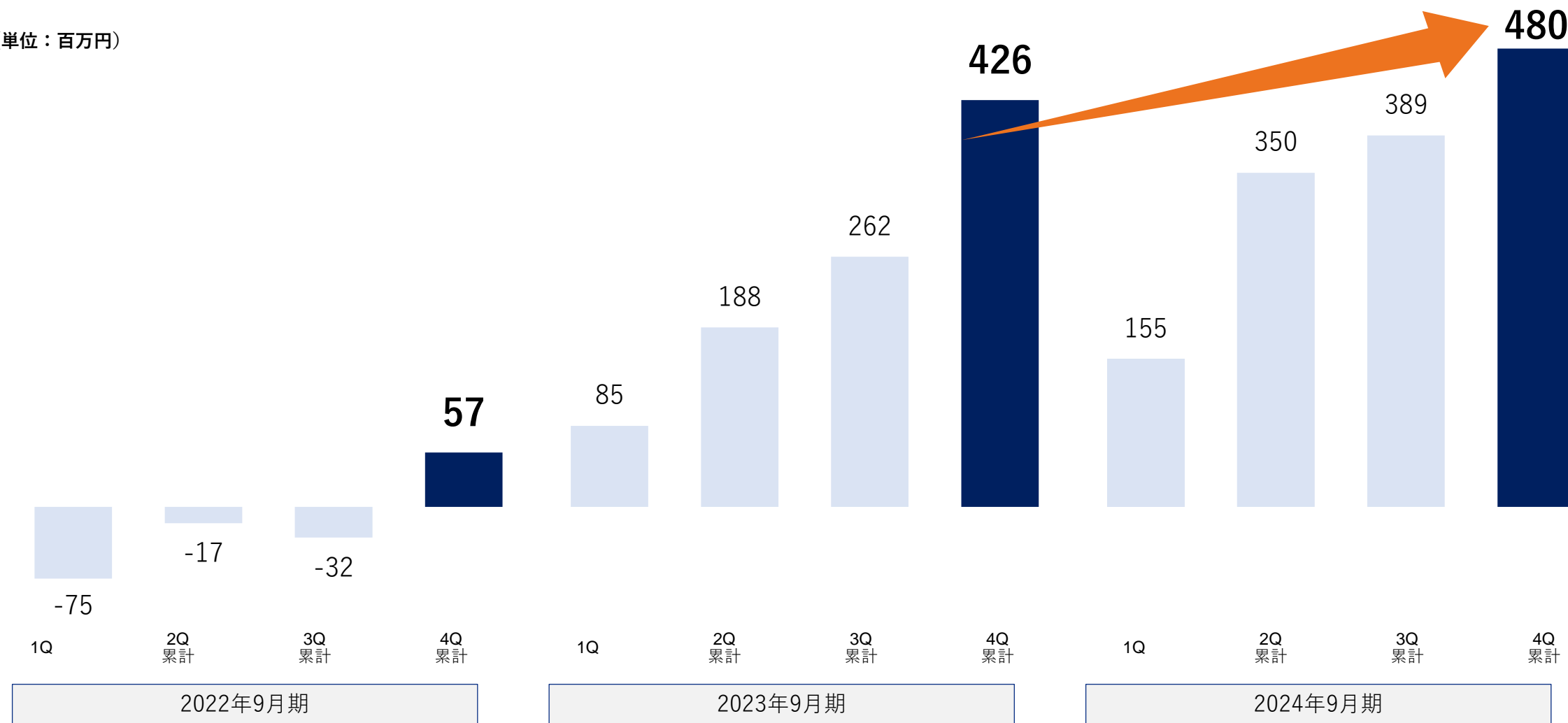
(単位：百万円)



# 連結営業利益の推移

事業拡大（人件費、採用費等）に伴い費用が増加したものの、前期比12.7%の増益。

（単位：百万円）



1. 業績ハイライト
2. **2024年9月期 通期実績・事業トピックス**
3. 来期業績予想
4. 株主還元策
5. Appendix

子会社（マックスプロデュース）の株式譲渡をしたことで、当期純利益が大幅に増加。

(単位:百万円)	2023年9月期 通期	2024年9月期 通期	前年同期比
売上高	5,627	6,208	+ 10.3%
売上総利益	1,545	1,641	+ 6.2%
営業利益	426	480	+ 12.7%
経常利益	407	452	+ 11.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	319	585	+83.3%
EBITDA	571	625	+ 9.4%

# 連結貸借対照表

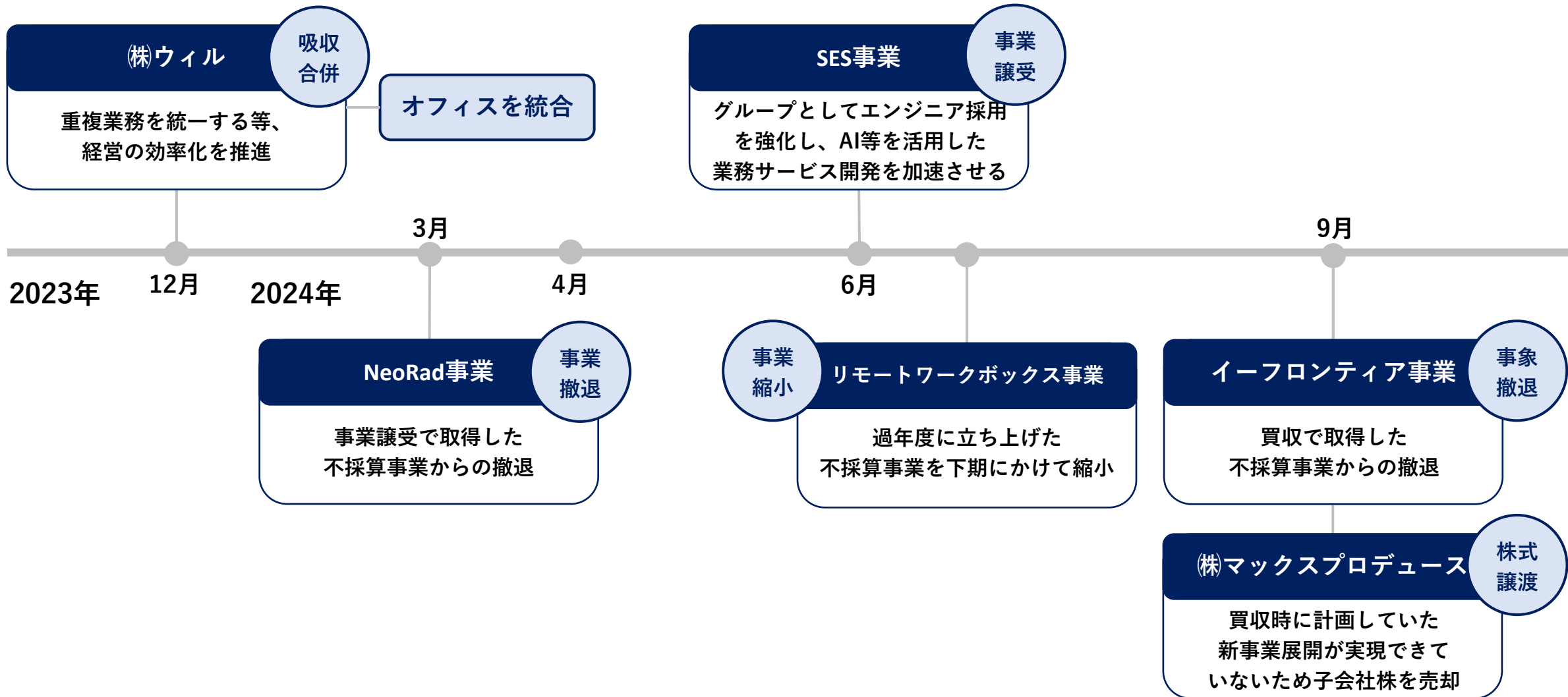
効率的な経営を目指し財務体質の改善をしたことで、純資産が大幅に増加。

(単位:百万円)	2023年9月末	2024年9月末	増減額
流動資産	3,664	2,882	▲781
固定資産	1,084	1,715	630
(うち、のれん)	190	496	305
資産合計	4,749	4,598	▲151
流動負債	1,129	858	▲271
固定負債	1,264	866	▲398
負債合計	2,394	1,724	▲669
純資産合計	2,355	2,873	517
負債純資産合計	4,749	4,598	▲151
自己資本比率	49.6%	62.5%	+ 12.9pt



# 決算のポイント — 2024年9月期 通期

成長戦略を見据えた上で事業の選択と集中を実行し、事業ポートフォリオを整理。



2024年9月の株式譲渡をしたことで子会社株式売却益を連結で236百万円、単体で372百万円を特別利益に計上。



リアルイベントのノウハウをメタバース空間で活用すべく  
子会社化

2022年5月

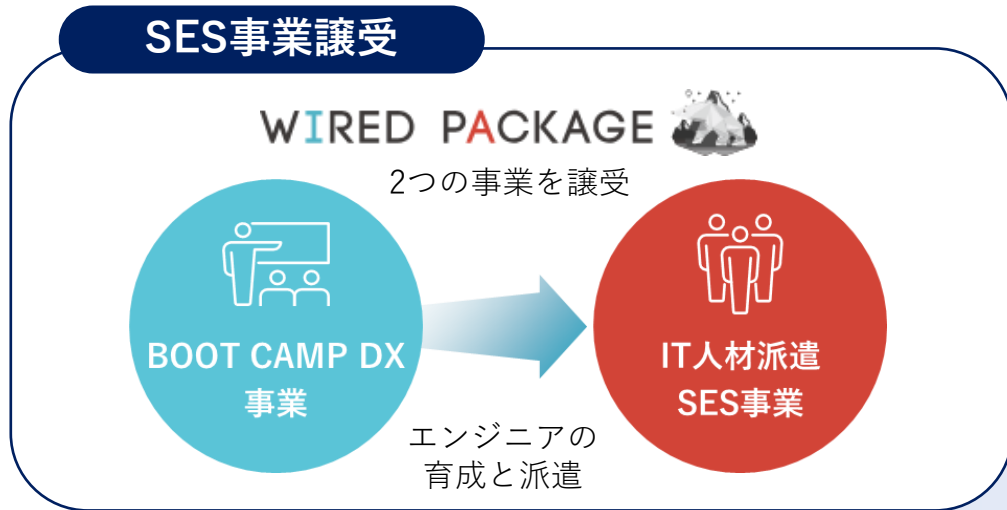


- 十分なリソースを確保できず、V-Tuber事業から撤退
- 事業ポートフォリオの最適化
- 経済合理性のある譲渡条件
- マックスプロデュースの成長を牽引する株主候補の存在

2024年3月

株式譲渡

販売派遣とSES派遣を人材派遣事業部へ統合し、販売・IT経験を積んだ人材による収益増が顕在化してきた。



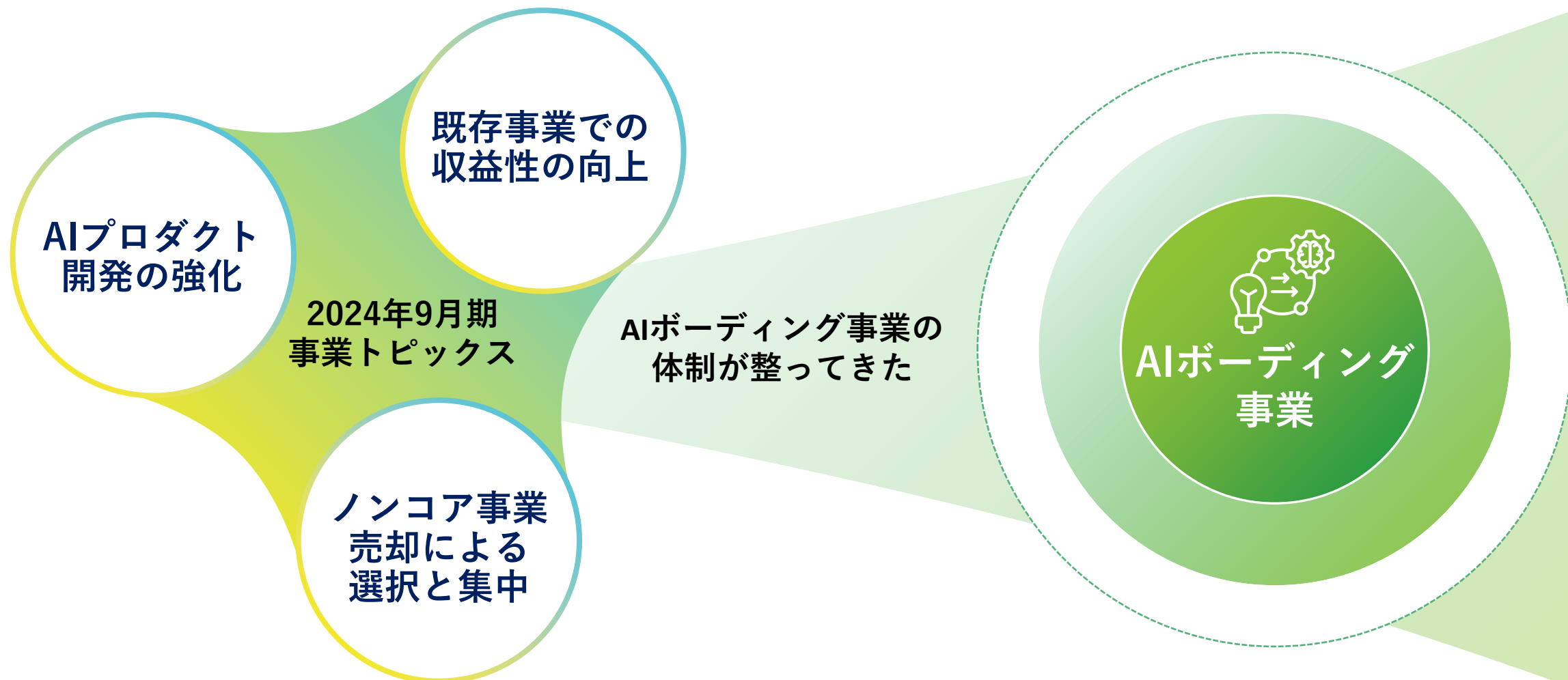
**現在**



事業譲受によりエンジニアを獲得したことで、自社サービスの内製化とAIプロダクト開発体制が整う。



既存事業の収益性向上と、事業ポートフォリオの組み替えにより、中期的な事業成長を実現するための体制構築が概ね完了した。



1. 業績ハイライト
2. 2024年9月期 通期実績・事業トピックス
3. **来期業績予想**
4. 株主還元策
5. Appendix

### 連結売上高

**68**億円

(前年同期比 +9.5%)



微増

### 連結営業利益

**5.5**億円

(前年同期比 +14.5%)



増

1. 業績ハイライト
2. 2024年9月期 通期実績・事業トピックス
3. 来期業績予想
4. **株主還元策**
5. Appendix



# 株主還元に関する方針

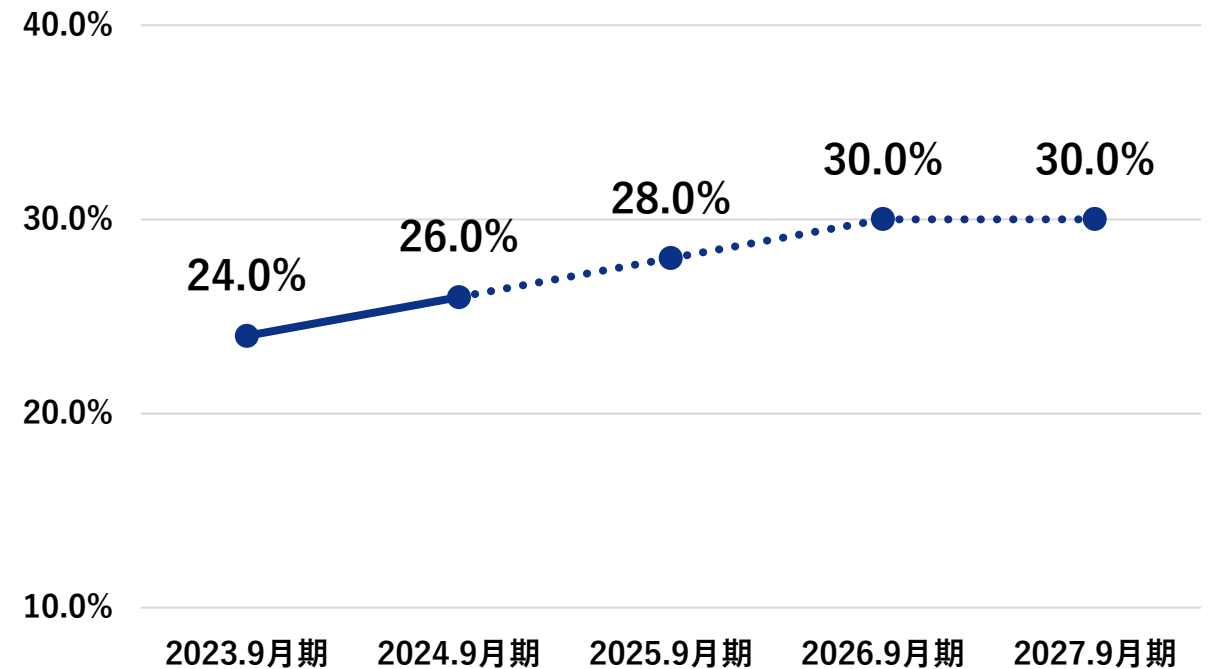
2025年9月期以降、資本効率向上を意識した事業展開・経営を実施し、配当性向30%目指す。

## 株主還元方針

# 配当性向 30%

- 企業成長と共に、配当による株主の皆様への利益還元を重要な経営課題のひとつと位置づけ
- 配当による株主還元を基本とし、1株当たり配当金の維持・増加を目指す
- 資金需要とのバランスを鑑みながら自社株買いも検討

## 配当性向の推移



1. 業績ハイライト
2. 2024年9月期 通期実績・事業トピックス
3. 来期業績予想
4. 株主還元策
5. **Appendix**



## 会社概要

社名	株式会社ピアズ
事業開始	2005年1月
所在地	東京都港区港南2-16-4 品川グランドセントラルタワー15F
代表取締役	桑野 隆司
従業員数	681名 ※2024年9月時点、グループ会社を含む
上場市場	東証グロース 証券コード7066 (2019年6月20日上場)
資本金	75百万円 ※2024年9月末時点

## グループ会社

株式会社Qualiagram

2Links株式会社

いつかの未来を、いつもの日々に

# NEW NORMAL ACCELERATION

INNOVATION

先端技術

社会実装



## 当社の祖業

顧客接点である店舗での商品販売促進のための企画提案、運営支援、人材派遣等をパッケージサービスとして提供。

セールス  
プロモーション  
事業

AIボーディング  
事業

## 新規注力領域

企業の人的資本経営を支援するサービスとして研修、リスクリング、eラーニング等を提供。AIを活用することでオペレーションの効率化も支援。

オンライン接客  
事業

## 第2の事業の柱

オンラインでの接客支援サービス。店舗とコールセンターを接続するシステムを提供することで、店舗現場の販売を支援。店舗DXから名称変更。

いつかの未来を、いつもの日々に

# NEW NORMAL ACCELERATION

2005年の創業から約20年。

「いつかの未来を、いつもの日々に NEW NORMAL ACCELERATION」というパーパスを新たに掲げました。

ピアズグループは、先端技術やイノベーションの社会実装を通じ、社会の変化を加速させ、世の中をもっと豊かに、もっと便利にしていくことで社会に貢献する存在でありたいと考えています。

そのためにも、新規事業の創出のみならず、M&Aを通じ事業ドメインを拡大し多角化を図ることで、さまざまな事業を展開していきたいと考えています。  
その中で、グループ各社においても個々に成長を目指しながら、相互に事業シナジーを創出しています。

企業の成長の原動力は言うまでもなく「人」です。  
これから多くの仲間が増えていく中で、パーパスという共通の言葉を掲げ、創業から変わらない想いをつなぎ、いつかの未来を、いつもの日々にしていきたいと思っています。



代表取締役 社長 桑野隆司

## 免責事項

- 本資料に記載された将来情報等は、本資料作成時点における弊社の認識、意見、判断及び予測であり、その実現を保証するものではありません。様々な要因の変化により実際の業績や結果と乖離が生じる可能性がありますのでご承知おき下さい。
- 本資料は、弊社をご理解いただくための情報提供を目的としたものであり、弊社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。本資料に全面的に依拠した投資等の判断は差し控え願います。

### IRに関するお問い合わせ

株式会社ピアズ 管理本部 IR担当

E-mail [ir@peers.jp](mailto:ir@peers.jp)

URL <https://peers.jp/ir/contact>

いつかの未来を、いつもの日々に

# **NEW NORMAL ACCELERATION**